

## 事前対策専門部会（3／27）の報告

事前対策専門部会

### 1 部会長・副部会長

部会長：神田 幸久                      副部会長：大月 傑

### 2 部会開催時間

できるだけ午後4時00分～午後6時00分に予定

### 3 検討事項の優先順位

#### （1）原子力防災に関する住民等に対する知識の普及と啓発について

- ・安定ヨウ素剤に関する知識

（その備蓄・配付・服用の基準も定めていく必要がある。）

- ・避難場所を示した「原子力災害待避マップ」を作成

（放射能拡散の情報伝達システムのあり方および、待避・避難を判断する基準も定めていく必要がある。）

→次回に、居村・石田・橋本でアイデアを出せるようにする。

#### （2）防災訓練等の実施について

- ・6月9日（日）の西紀北地区での防災訓練に原子力災害の要素を加える。

（最初は図上訓練としての学習だけでもよいが、各まちづくり協議会でも防災訓練をしているので、順次改善を加えながら中身の濃い訓練ができるようにする。自治会や学校等の防災担当にも参加してもらい、原子力災害に係る防災業務関係者の人材育成を図り、原子力防災の力を持つ地域にしていきたい。）

- ・過去の地区防災訓練や他自治体の実践を参考に訓練案を作る。

（災害時の放射線量を測定して記録する自治体の仕組みも整備したい。）

→次回に、神田・大月・畑でアイデアを出せるようにする。

### 4 その他

滋賀県と京都府で3月に原子力防災の訓練が実施されたので参考としたい。また、京都府は各地で放射線量を測定し公表しているのので、篠山市の原子力防災に活用すべきと思う。